学校番号	３０５

令和３年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	自主教材プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身の周りのものや美術作品をあらためて見直してみましょう、美しさやその理に心を集中させてもう一度観察して下さい。
・どうすれば自分の表したいものに近づけるかを考えて、自分なりに工夫して表現しましょう。
・意図したものが表現できるように、自分のイメージを深めましょう。
・表現する喜びを味わいましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	美術と自分	【鑑賞】【絵画・彫塑】 ・オリエンテーション ・模写 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 一つ作品を選び模写する。 ・自己紹介 文字と絵で表現する。	◎ ◎	◎	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:自分のイメージを、文字と絵で表現する。 c:教科書の作品を色や形に留意し模写する。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子 ワークシート 制作の様子 作品
	つながる模様	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎 ・色彩構成 色のつながりや明度差を利用してグループ全員の模様がつながって見える共同作品を作る。 作品を貼り合わせ、一枚の作品として鑑賞する。	◎ ◎	○ ○	○ ◎	○	a:模様のパターンの中に美しさを追求し、絵の具を混色することで美しい色を出そうと試みている。 b:形や色彩の働き、また条件を考え、美しく表現している。 c:アクリルガッシュの特性を生かし、むらなく、美しく塗れている。 d:色を色相でまとめ、色彩計画についての考察を深め、色の個性を知る	発表の様子 制作の様子 製作途中の作品 作品
	シルクスクリーン版画	【デザイン】 ・自分のイニシャルをデザインする。 ・バッグにシルクスクリーンで印刷する。	◎ ◎	◎	◎		a:自由なアイデアを大切にしながら、文字のエレメントや発想のプロセスに着目し、多角的に文字をデザインする。 b:デザインする面白さに気づき、制作する。 c:シルクスクリーンのカッティング法を表現に生かし美しく刷りあげる。 d:版による表現の方法を知り、表現に生かす。	制作の様子 製作途中の作品 作品
	自画像	【絵画・彫塑】【鑑賞】 ・教科書に載っている自画像の作品や作家の自画像を鑑賞する。 ・鉛筆によるデッサン。 顔の向きや角度を変えて自分の目を描く。	◎ ◎	○	◎	◎	a:モチーフを表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:光や陰影、面等を把握して形態を表現している。 c: 鉛筆の芯を整え、線を重ねることにより暗さの段階を出す。 d:上下左右の角度変化によりものの見え方が違うことを理解する。	アイデア スケッチ ワークシート 制作の様子 製作途中の作品 作品

後期	ポスター制作	【デザイン】【鑑賞】 ・教科書の作品等を鑑賞する ・描写 愛着のある物を探して題材とし、想いが伝わる様にデザインする。 ・相互鑑賞	 ◎	 ○	 ○	○ ◎	a:用意した題材への自分の思いをまとめ、発表する。 b:物の感じを捉えて表現する。 c: アクリルガッシュの特性を生かし、むらなく、美しく塗れている。 d:良さや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品についての理解を深めている。	鑑賞ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品
	塑造	【絵画・彫塑】【鑑賞】 ・将来の働いている自分をイメージして構想を練る。 ・構想にそった造形を粘土でモデリングし、キャラクターのイメージに合うように色のトーンを考えてアクリル絵の具で彩色する。 ・相互鑑賞	◎ ◎ ◎	◎ ◎	○ ◎	 ◎	a:テーマを決めて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて粘土や着彩の表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:色のトーン（調子）についての考察を深め、表現に生かしている。	制作の様子 アイデア スケッチ 鑑賞ワークシート 製作途中の作品 作品
	靴のデザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・理想の靴というイメージを膨らませて、デザインする。 ・自分の足型をダンボールに写し、ダンボールの素材変化を活用し、色によるイメージ表現を考え、絵の具の使い方も工夫して彩色する。 ・相互鑑賞	◎ ◎ ◎	○ ◎	 ◎	 ◎	a:自分の好きなものからイメージをふくらませて表現することや、ダンボールの素材を変化させることに興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:感性や想像力を働かせて表現の構想を練っている。 c:ダンボールの素材や絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品についての理解を深めている。	制作の様子 アイデア スケッチ ワークシート 製作途中の作品 作品

4　学習の活動

※　表中の観点について　a…関心・意欲・態度　　b…発想や構想の能力
　　c…創造的な技能　　d…鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。